



## ピカピカの春

### CONTENTS

- 予算特集
- 特定健康診断等実施計画
- 3月定例市議会
- HOT話題

## 歴史の散歩道

(88)

### 宝光院と連歌

宝光院といえば、白山神社の本殿前の大石垣を玉泉坊と争い、八千石の法師大名であったという。ところがこの宝光院跡は今なお不明である。発掘が始まって二十年あまりになるがまだ分からない。白山平泉寺案内パンフレットに掲載されている「白山中宮平泉寺境内図」にも、玉泉坊跡は描かれているが、宝光院跡が描かれていないのはなぜでしょうか。

さて、宝光院の名が初めて登場するのは文明十一年(一四七九)の京都清水寺再興のための奉加帳で、「白山平泉寺宝光院長澄」とある。宝光院長澄とはどのような人物でしょうか。これから八十一年後、平泉寺で連歌の会があった。

永禄三年(一五六〇)連歌師宗養は、朝倉義景の招きで一乗谷を訪れた折に、宝光院と玉泉坊に請われ平泉寺にやってきた。宮内庁書陵部所蔵の『宗養発句付句』によれば、この時宝光院の坊院において、「宝光院庭先の石、秘蔵の心を所望三テ」という詞書をつけて「露をも ミおけや千引の石の竹」と詠んだとある。宝光院は多くの衆徒を招いて連歌の会を催した。宗養が宗匠となって発句(五・七・五)を詠み、宝光院は亭主として脇(七・七)の句を詠んだ。残念ながら脇は残っていない。庭に

ある秘蔵の庭石を前にして、その心を詠んでくれ、と宝光院は宗養に所望した。

筆者はこの庭先の石を、次のように解釈する。「千引」のチビキとは、千人もの大勢で引かなければならないほどの大きな石をさす。「竹」は文の誤りで、石の高さのことではないか。「庭」は境内の意味があるから、白山社の境内をさし、「秘蔵」とは人に見せないで所有するという意味ではなく、非常に大切にしているという意味であろう。このように解釈すれば、この石は白山神社の本社前にある大石垣の石をさし、宗養はこの石の心を詠んだのであろう。ここで詠まれた百韻連歌は、白山社に奉納されたことであろう。



平泉寺白山神社本殿前の大石垣

勝山市文化財保護委員 佐野光臣

### 人口の動き

	2月末現在	自然動態		社会動態		3月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,003人	5	13	36	76	12,955人	- 48人
女	14,220人	6	18	35	82	14,161人	- 59人
合計	27,223人	11	31	71	158	27,116人	-107人
世帯数	8,382世帯					8,379世帯	- 3世帯

**編集後記**  
 ▼4月、新年度がスタートしました。学校や会社などでは、新しいメンバーでの1年間の始まりです。また新たな気分ではりきっておられることとしよう。▼勝山市の新年度予算は、安全・安心の確保と子育て支援、まちづくり施策を充実させるため、一般会計は4年ぶりに110億円を超える積極型予算となりました。▼防災行政無線(同報系)の整備、幼児のインフルエンザ予防接種費の助成、わがまちげんき発展事業の実施など、全力で取り組んでまいります。

### 交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成20年3月末	前年比
総件数	147件	-8
人身事故(うち高齢者)	17件(1)	-16(-12)
死者(うち高齢者)	0人(0)	0(±0)
傷者	18人	-20
物損事故	130件	8

### 4月の納税

固定資産税▶1期(全納)  
 納期限▶4月30日(水)  
 口座振替▶4月28日(月)

- **大きさ** 縦5.5cm×横8.5cm、または縦5.5cm×横18.0cm(市長が特別に認める場合)  
 広報紙1号当たり最大2枠まで掲載  
 1事業主1枠(6か月を限度)
- **色彩** フルカラー(再現可能なもの)
- **掲載料金** 1万5千円(縦5.5cm×横8.5cm)  
 3万円(縦5.5cm×横18.0cm)
- **掲載者の資格** 国や独立行政法人など、市内に有する法人および公共的団体ならびに事業を営む個人など
- **掲載できない範囲** 公共性、中立性およびその品位を損なうおそれのあるもの、政治活動、宗教活動、意見広告、個人的宣伝にかかるもの、公序良俗に反するおそれがあるものなど

## 広報かつやまの掲載広告募集

5月号から、このスペースに掲載する広告を募集します。概要は左記のとおりです。

申・問 秘書・広報課 ☎88-1114